

平成24年度

## まちなみウォッチング



良好な景観形成を進めるためには、景観形成の担い手である市民の理解と協力が不可欠である。

このため、「まちなみウォッチング」により良好な景観を共有財産として認識するきっかけを作り、市民が自分たちの住むまちを観察しながら歩くことにより、景観資源を知り、親しみを持ってもらうとともに景観づくりの意識の醸成を図ることを目的とする。

### 日時

1回目 平成24年9月14日(金)

2回目 平成24年9月21日(金)

時間は9時から17時

### 参加者

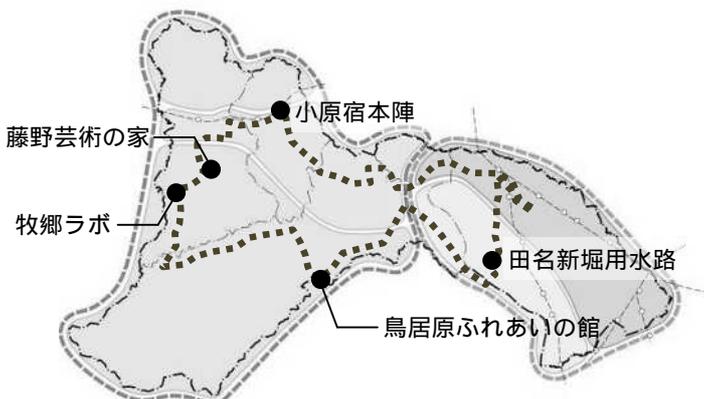
1回目 18名

2回目 15名(3名欠席)

### 行程

市内の特徴的な景観を持つ場所をバスで巡った。

市役所(集合) 橋本駅(集合) 小原宿本陣 藤野芸術の家 牧郷ラボ 鳥居原ふれあいの館 田名新堀用水路 橋本駅(解散) 市役所(解散)



編集・発行 相模原市 街づくり支援課

〒252-5277 相模原市中央区中央 2-11-15

電話：042-769-9252(直通)

mail: machidukuri-2@sagamihara.kanagawa.jp

### 車窓



#### 三井そよかぜ橋

歩行者の安全を確保する目的でつくられた、三井大橋に併設した231mのつり橋形式の歩道橋



### 視察1 小原宿本陣

神奈川県内に26軒あった本陣で唯一現存するもの。定紋のついた敷居の高い玄関や4層のカブト造りの入母屋風の屋根などの特徴を持つ。現在、県指定の文化財となっている。

当日は、本陣の管理人からの説明を聞き、本陣内を見学した。



#### アンケートでの意見

- ・なつかしい感じがした。昔にタイムスリップしたようだった。
- ・歴史的建造物なので、修復等が必要と思った。



### 視察2 藤野芸術の家

「ふれあい、体験、創造」をテーマにした豊かな自然に恵まれた芸術体験施設。陶芸や木工などのできる工房、ダンス等ができるスタジオやホール、宿泊施設もある。

当日は、施設の方の案内で、施設内を見学した。



#### アンケートでの意見

- ・自然の中に、このような施設が素晴らしい。
- ・利用するのにアクセスが悪い。

#### 車窓



#### 緑のラブレター

藤野在住の芸術家、高橋政行さんが「森と湖からのメッセージ」をコンセプトに作成したもの。

縦 17m、横 25m もの大きさ

#### 視察3 牧郷ラボ

廃校になった、築50年の木造校舎の小学校をリノベーションし、地元在住のアーティスト達のアトリエやギャラリーなどの活動拠点「牧郷ラボ」として今は活用されている。

当日は、トランジション藤野の取組みである「藤野電力」の事務所に入れて頂き、活動内容等の説明を受けた。



#### アンケートでの意見

- ・まちの活性化に努力している。
- ・芸術家が集まって、地域と連携しているのが素晴らしいと思った。

#### 視察4 鳥居原ふれあいの館

宮ヶ瀬湖を望む県立自然公園の景勝地「鳥居原園地」に隣接する農林産物直売所。

眺望点からは、宮ヶ瀬湖や丹沢の山並みを一望できるほか、かながわの橋100選に選出された「虹の大橋」を望むことができる。



#### アンケートでの意見

- ・景色がとてもよかった。
- ・景勝地としてどんどん宣伝してほしい。

#### 視察5 田名新堀用水路

時代の移り変わりと共に農業用水路としての役割は薄れ、水質の悪化が懸念される時期もあったが、「新堀用水路を愛する会」を中心に再生され、散策路としての木道の整備や錦鯉の放流などにより美しい景観によみがえった場所。

当日は、「新堀用水路を愛する会」の方から、散策路を巡りながら、整備時の話などを聞いた。



#### アンケートでの意見

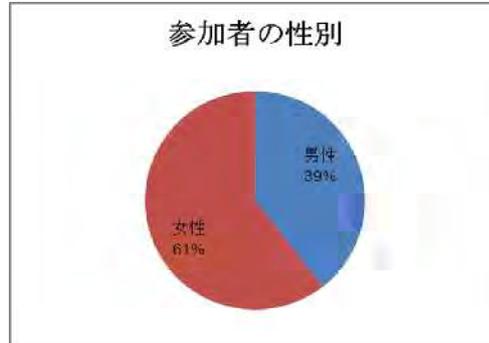
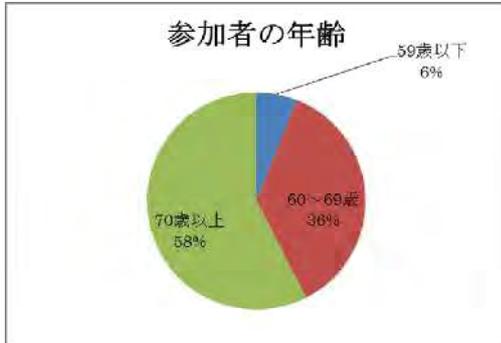
- ・とても素晴らしい散策コースだった。地元の人に感謝したい。
- ・垣根の手入れをしてもらえると、もっと魅力的になると思う。



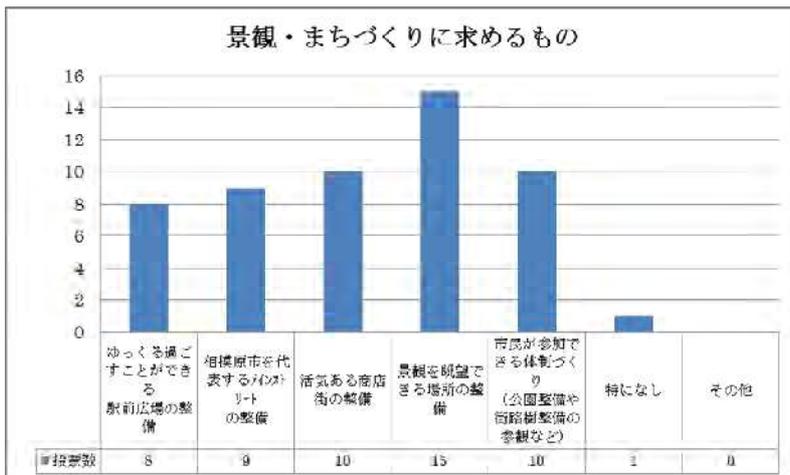
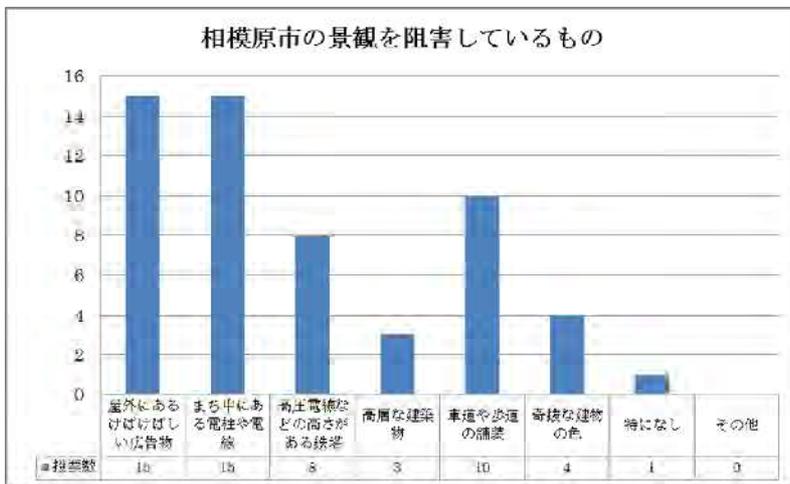
## アンケート結果

今回のまちなみウォッチングでは、市の景観について等、参加者からアンケートを取りましたので、結果をお伝えします。

### 1 参加者の属性



### 2 相模原市の景観について



## 事務局から

今回のまちなみウォッチングでは、景勝地はもちろんのこと、新しいまちづくり現場への視察も行いました。アンケート結果を、次回のまちなみウォッチングに活かすとともに、市の景観行政にも生かしていきたいと思ひます。